

天地

ネットワーク テーブル 499号

天地シニアネットワーク 2019.9.1

6

TENTĪ TODAY			1
会員の広場			2
論考	中国人から見た日本人の言語表現心理（7） ＜押しつけや強く言うのを避けて控えめに言う＞	兪 彭 年	2
随想	160年前の日本社会に驚愕・感心・感動した欧米人 その6. 陽気で朗らかで笑いと冗談が大好きな庶民	臺 一 郎	3
随想	「静聴雨読庵より」（11）＜うなぎ街道＞	尾関 陽司	6
紹介	一枚の紙に記されていた短歌	津田 孚人	8
講演会	「新三木会」「奈良興福寺文化講座」		10
事務局			10

TENTĪ TODAY

台風15号で千葉県は非常事態を迎えています。小生の住む北西部の東葛地方、幸い被害は殆どありませんでしたが、その後、竜巻警戒警報が出て慌てました。

今後も、各地で自然災害の発生が予想されます。今回のように国や地方自治体の対応が遅いと不安がつります。

日韓関係のこじれは、自然災害でなく人為的災害と言えますが、安倍新内閣の顔ぶれをみると、路線は変わらないようです。安倍首相は外交が得意ですが、トランプ旋風で国際政治は大揺れ、どんな決着がつくか、見通しは難しそうです。日韓国民の大半は、平和・友好を望んでいます。柔軟な外交を期待しています。

スポーツの秋が始まりました。母校のバスケットボールのリーグ戦が始まり、一次リーグが終わって、二次リーグに入るのですが、上・下と分けて上位リーグに入ることになったので、応援が長引きます。6大学野球や大学ラグビーなど毎年シーズンになると1度は試合場に出かけるのですが、プロ野球、大相撲に加えてラグビーの世界選手権もあり、今秋は、テレビでのスポーツ観戦も楽しみです。

つい最近、一枚の紙を知人から渡されました。8月15日の終戦記念日に開かれた会で、歌人の市川八重子さん（82歳）の「満州における少女時代

の体験」という講演がり、その時に配られた資料でした。そこには、市川さんの経歴と、50首の短歌があり、列記された短歌のもつ威力に圧倒されました。

最近、戦争を体験した90代の方たちが、ご自身の赤裸々な体験を披露されていますが、私たちと同年の方が、こんな悲惨な実体験をしていると知って、大ショックです。皆さんにも知っていただきたいと、会員の広場の最後に載せてみました。ぜひご覧ください。なお、最近のご様子の部分は、カットしてあります。(津田)

会員の広場

中国人から見た

日本人の言語表現心理 (6)

兪彭年

押しつけや強く言うのを避けて控えめに言う

日本では控えめは美德だといわれている。それは当然であろう。人との和を保ちながら和して話をしていくには、自然と控えめが必要になる。強く言ったり、断定がましく言ったりすると、相手には威張っているとか、自己を吹聴しているとか、自分の意見や主張などを押しつけようとしていると受け取られやすいからだ。したがって、和が損なわれ、相手は和して話していくことを難しいと感じるようになり、結果は嫌われ、相手にされなくなる。

中国でも威張ったり、自己を吹聴したり、自分の見方や主張を押しつけようとするれば、日本と同じく嫌われて、相手にされなくなる。同じく謙虚は美德だ。しかし日本のような控えめな話し方はしない。日本では押しつけや強く言うのを避けて控えめに話すために、いろいろと工夫する。その中に「…たいと思います」があり、この工夫が中国人にとっては難しい。

日本では、開会を告げるときによく「ただいまより、……を始めたいと思います」のようなパターンでスタートする。「たい」は願望を示す助動詞で、それに「思います」をつけて言うのだから、これは「始める」ことを願っている気持ちとその考えを表したに過ぎない。しかし列席する人々は会が「始まった」と受け取る。つまり「始めたいと思います」は「始めます」の控えめな言い方なのだ。「始めます」と言っては強く言っているように聞こえてしまい、しいては押しつけて受け取られるかもしれない。これが日本人の言語表現心理だ。

中国ではこの場合、ふつう「**現在、……開始**」とか「**……現在開始**」と言う。これを日本語に直訳すると、ふつう「ただいまより……を始めます」か「……ただいまより始めます」になる。つまり中国でははっきりと「始めます」「始めます」と強く断定した言い方になり、「始めたいと思います」にはならない。だから通訳をするとき、日本側の「ただいまより……を始めたいと思います」を「**現在……開始**」か「**……現在開始**」と訳せばよく、も

し忠実に「たいと思います」を訳そうとして「**現在想開始……**」か「**……現在想開始**」に訳したら、列席する人は「始まった」とは思わず、人によっては「我々に相談することもないのに」「さっさと始めたら良いのに」と思われるだろう。ここが日本人と中国人の言語表現心理が異なるところだ。日本語の「……たいと思います」は話者が一方的にことを進めるのを避けて相手の意向を質して相手の気持ちをくみ取る表現心理が働いていて、まさに押しつけを避け、強く言うのを避けた控えめな表現方式なのだ。

ところが、中国の「**想……**」には話者の希望や願望やつもりをはっきりと伝え、日本のような言い方を控えめにする働きはない。中国人には相手に和して話を進めるという意識がないので、はっきりと強く断定した言い方になってしまうのだろう。

表現方式「……たいと思います」は、話者のほうで決めたことを大勢の人に伝える場合に良く使われる。押しつけや強く言うのを避けた控えめな表現であるため、大勢の人は抵抗なく話者の決めたことを受け入れ、話者の指示に従ってしまう。例えば、観光旅行で添乗員がお客に出発時間を知らせるときに、よく「出発時間は10時にしたいと思います」と言う。集合場所の知らせでも同じく、よく「集合場所は1階のロビーにしたいと思います」となる。そして観光客は皆その通りに動く。

しかし、中国ではあっさりと「**出発時間 是 10 点钟**」「**集合地点 是 1 楼大厅**」となり、つまり、「出発時間は10時です」「集合場所は1階のロビーです」になる。また、フォーラムやシンポジウムの司会者がよく言う「それでは10分間休憩したいと思います」や「これから第2セッションに入りたいと思います」や「12時まで討議を続けたいと思います」なども同じ言語心理がはたらく言語表現であろう。日本語のこのような言い回しは中国にとってはまわりくどく感じられ、何であっさりと言わないのだろうかと思われるが、私に言わせれば日本語には謙虚さが感じられて、中国語には簡潔さが感じられる。文化は多様でお互いに尊重すべきであろう。

160年前の日本社会に驚愕・感心・感動した欧米人（7）

臺 一郎

陽気で朗らかで笑いと冗談が大好きな庶民

幕末から明治中期にかけて日本を訪れた欧米人の多くがほぼ共通して指摘しているのは、庶民の、それもどちらかと言えば社会の底辺に近いような階層の人々の陽気さであり、笑い上戸であり、冗談好き、そしてまずまず幸せそうな表情であった。

日英修好条約締結のために1858年に英国から日本を訪れたエルギン使節団の一員で海軍軍人のオズボーンは、江戸上陸当日に目にした町民達について、「この街で最も印象的なのは男も女も子供もみなが幸せで満足そうに見えることだ。不機嫌でむっつりした顔にはひとつも出会わなかった」と感心した。また、1860年にプロシヤ国のオイレンブルグ使節団の一員として来日した画家のベルグも、滞在記に「話し合う時は冗談と笑いが興を添える。日

本人は生まれつきそういう気質がある」と紹介した。

また 1860 年代早々に来日してその後の 15 年間で日本を過ごし、横浜で英字新聞『ジャパン・ヘラルド』の編集にも携わった英国人ジャーナリストのジョン・ブラックは、その著書『ヤングジャパン 1・2』の中で、日本の庶民について「彼らの無邪気、素直な親切、むき出しだが不愉快ではない好奇心、自分が楽しみ、人を楽しませようとする愉快的な意思は、我々を気持ちよくした」と書いた。

『スイス領事の見た幕末日本』という手記の中で「日本人ほど愉快になりやすい人種はほとんどあるまい。良いにせよ、悪いにせよどんな冗談でも笑いこける。そして子供のように、笑い始めたとなると、理由なく笑い続けるのである」と書いたのは 1859 年に来日し、1864 年にスイス領事となったルドルフ・リンダウだ。

同じくスイス人でスイスと時計協会の会長、さらに日本とスイスとの修好条約締結のための使節団長として 1863 年に来日し、約一か月間の日本滞在中に集めた資料を基に帰国後『幕末日本図絵』という本をまとめたエメ・アンベールは、その本の中で「(労働者階級の顕著な特徴は) 陽気なこと、気質がさっぱりとしてモノに拘泥しないこと、子供のようにいかにも天真爛漫であることだ」と強調した。

また、1866 年に日本との通商条約締結のために訪日したイタリア使節団の一員ヴィットリオ・アルミニオンも、日本庶民の特徴として「下層の人が日本ほど満足そうにしている国はほかにない」と述べている。世界旅行の途中に日本に立ち寄り、一か月間ほど滞在したフランスの貴族ボーヴォワールも、著書の中で「この民族は笑い上戸で心の底まで陽気である。我々のほんのわずかな言葉、ささいな身振りをたいへんに面白がる」と紹介した。

更に、幕末から 50 年以上遡る 1811 年に千島列島測量のために訪れていたロシアの艦長ゴローブニンも、国後島において当時の松前藩に拿捕されたが、帰国後に書いた『本幽囚記』の中で「日本人は至って快活な気風を持っている。私は親しい日本人たちが暗い顔をしているのを見たことは一度もない。彼らは面白い話が好きでしばしば冗談を言う」と書いている。

日本における庶民や下層階級の陽気さや親切や笑い上戸は、明治になって日本を訪れた欧米人も同様に指摘している。

1872 年に司法省の顧問として来日したフランス人弁護士のジョルジュ・ブスケは、帰国後の 1877 年に出版した『本見聞記』の中で、彼が出会った農民や駕籠かきの連中について、「その性質たるや素朴で人好きがよく、無骨ではあるが親切であり、その中に民族の温かい気持ちが流れている」と紹介し、さらに駕籠かきの連中についても「彼らはあまり欲もなく、いつも満足して喜んでさえおり、気分にもうがなく、幾分荒々しい外観は呈しているものの、確かに国民の中で最も健全な人々を代表している。このような庶民階級に至

るまで、行儀は申し分ない」と感心した。

1876年に工部大学校の教授として来日した英国人ウィリアム・ディクソンは、東京で目にした群衆について「つまり上機嫌な様子がゆきわたっているのだ。群衆の間でこれほど目に付くことはない。西洋の都会の群衆に良く見られる心労にひしがれた顔つきなど全くない。頭を丸めた老婆から赤子に至るまで、彼ら群衆はにこやかに満ち足りている。彼ら老若男女を見ていると、世の中に悲哀など存在しないのではないかと思えてくる。・・・人々の愛想の良い物腰ほど外国人の心をうち、魅了するものはない」と書いた。

また1885年（明治17年）に来日した米国の人文地理学者で、後にワシントンのポトマック河畔の桜植樹の立役者となったエリザ・シドモア女史は、著書『シドモア日本紀行』の中で鎌倉の海辺で暮らす下層階級の人々について、「万事晴れやかで美しく、誰もが笑いさざめき幸せそうです。鎌倉の庶民生活は歓喜と豊漁に満ち溢れ、少しも暗い面はありません」と紹介した。

経済力や所得などの面ではもちろん現代の方が遥かに豊かである。しかし、庶民の表情から比較すると、もしかすると今から150年以上前の日本人の方が満ち足りていたのではないかと思えるのである。

海外随想録・4 フィジーの思いで。 森永善彦

今回はフィジーでのエピソードをお話しします。

1978年から海外部品部と言う部署で2年間位北米と太平洋の地区担当員として勤務していました。その間2回フィジーを含めた太平洋の島々を出張訪問しましたが、今回は2回目のフィジーの訪問についてお話します。この時はフィジーで太平洋の島々のトヨタ代理店の部品部長を集めて会議をする為の出張でした。

皆さまフィジーと言う国の名前は聞いた事が有ると思いますが、どのような国か余りご存じないと思いますので国の概要をお話しします。フィジーと言う島は太平洋諸島の中ではハワイに次いで多分面積が2番目に大きい国です。フィジーは300強の火山島とサンゴ礁の島々で成り立っています。場所はオーストラリアシドニーの東北東2500キロメートル、東京の南南東6500キロメートルの所に位置しています。

面積は18,300平方キロメートルで岩手県より少し大きい位です。首都は一番大きな島のViti Levu島の南に位置するSuvaです。1970年イギリスより独立しました。人口は86万人でフィジー人が57%、インド系が38%です。

フィジー人はメラネシア系の人種で特徴は髪の毛が赤茶色をしていて天然パーマでもじゃもじゃで肌も茶褐色をしています。これに19世紀後半フィジーでの砂糖キビの栽培労働の為インドから強制移住されたインド人が混在しています。

主産業は農業（砂糖栽培）、観光、衣料（織物）です。大幅な輸入超過だ

そうです。日本で有名なフィジー人はアメリカのプロゴルフツアーで活躍したインド系の Vijay Singh だと思います。

さてお話しした様にフィジーには太平洋諸国の部品部長会議を開催する為に訪問しました。会議の準備の為会議の 4-5 日前にフィジーの南に有るパシフィックハーバーと言うリゾート地に行きました。海で泳ぎ、ヨット遊びやスキューバダイビングが楽しめます。回りには一般の家は有りませんでした。

ホテルの予約の確認とか、会議をする会議室の下見とか、会議の発表の予行演習とかが会議の事前の仕事でした。これらは 2 日も有れば終わります。そこでそのホテルに隣接したゴルフ場が有ると言うので私のアシスタントと一緒に来ていた 1 年後輩の人間と 2 人でゴルフをする事にしました。平日だったので他に誰もプレーをしている人はいませんでした。ゴルフ場としてはまずまず立派な物でした。ただ各ホールは高い密生したヤシの木と他の熱帯の植物区切られ、俗世界から隔離されていて、2 人でプレーしていると周りは大変静かで時々熱帯の鳥のギャーと言う大きな声が響いてきます。プレーしている内に段々不気味に感じて来ました。

勿論フィジーに猛獣はいないので動物に襲われる心配はないのですが、木の木陰から追いはぎ強盗が出て来る様に思えプレーに集中出来なくなり、早々にプレーを切り上げました。

会議は所属していた部の担当取締役も参加して成功裏に終了しました。次回は初めて海外赴任したロス・アンジェルスから行ったグランド・キャニオンの話しをお届けします。

「静聴雨読庵より」(11)

尾関 陽四

うなぎ街道

国道 16 号線を北から南に下って横浜市金沢区に入ると、京浜急行の線路と並走する形になる。しかし、以前はそうでなかったらしい。金沢文庫から金沢八景にかけて、海側に大きく迂回して国道が走っていたとのことだ。今はその旧国道は国道 16 号線の迂回路の観を呈している。でも、路線バスは現在でも旧国道を通して金沢文庫と金沢八景を結んでいる。

その 1 km あまりの旧国道に路線バスのバスストップが 4 つ。金沢文庫から順に、君ヶ崎、寺前、町屋、洲崎。その 4 つのバスストップのそれぞれの近くにうなぎ屋があるのだ。それで、私はこの旧国道を「うなぎ街道」と呼んでいる。ほかに呼んでいる人がいるかどうかは知らない。

君ヶ崎の近くにあるのが「ふくしま」。古い店のようだが、リーズナブルなうなぎを提供している。ただし、焼きは雑で、中級店のようだ。

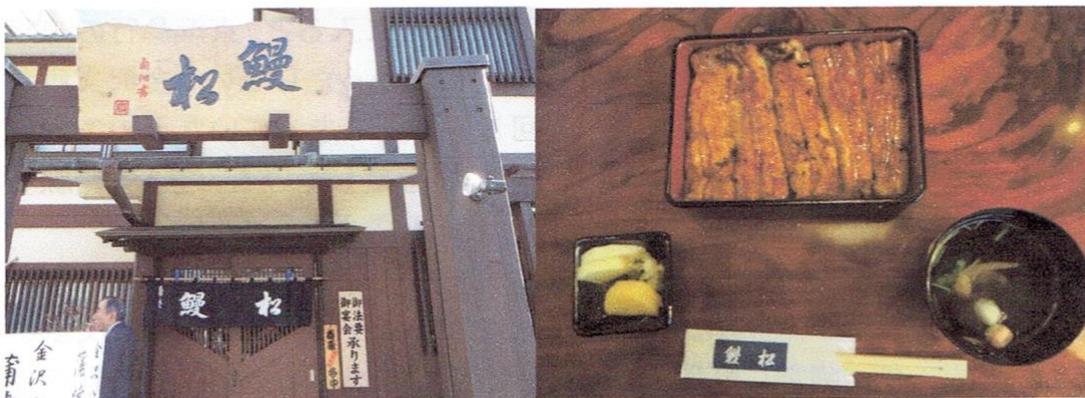
寺前の近くにあるのが「芦川」。うなぎだけでなくふぐなども供する割烹で、夜だけの営業。ある夜訪れると、予約で満員と断られた。

町屋の近くにあるのが「隅田川」。うなぎのほかに東京湾の魚介類も扱っている。板前が板場の奥から客をにらむのはいただけない。訪れた日の鰻重は出来が悪く、焦がし跡が目立ち（写真でもわかる）、蒲焼の下のご飯がのぞいている。



(隅田川の外観)

(鰻重・松 3672 円)



(鰻松入り口)

(うなぎ重・特上 3900 円)

洲崎の近くにあるのが「鰻松」。伊藤博文のころからの営業だそうで、店内には、もりや竹籠などうなぎを捕る道具などがディスプレイされている。隅田川と並ぶ本格高級店だ。

さて、私の通うのは、自ずから、隅田川と鰻松に絞られる。どちらがいいのだろう。ネット雀がいろいろ言うには、やれ鰻松の蒸しは柔らかすぎる、やれ鰻松のタレはあっさりし過ぎている、やれ鰻松の接客はなっていない、と鰻松を責める書き込みが目立つ。これは意外だった。

私は、当初鰻松一辺倒で、ここの焼きの丁寧さにほれ込んでいたものだ。焦がした跡を少しも残さない丁寧な仕上げに感心していた。その後、隅田川にも顔を出すようになったのだが、正直言って、蒸しやタレについて両店を比較するほど舌が肥えていない。接客については、両店ともいただけない。

写真で見てもわかる通り、鰻松が隅田川に劣るところは見当たらない。ネッ

ト雀とは逆の結論だ。私にとっては、両店とも合格点レベルだ。そんなわけで鰻松と隅田川をともにこよなくひいきにしている。両店の定休日が異なるのがうれしい。(2018年)

一枚の紙に記されていた市川八重子さんの短歌

「満州における少女時代の体験」

津田孚人

いかにして生還したるか誰もみな
問ひたださむとす語らぬわれに

遠ざけて来たる戦争体験を
震災の日より書かむと思ひき

七十年守り来たれり
中国人に嫁したる友をわれは語らず

木に登り槐の豆を我にくれし友も
匪賊に撃たれて死せり

ロシア軍が満州を攻むる八月九日
「ポツダム宣言」日本受託す

ことごとく鉄橋壊せし関東軍が
逃げ延びゆけりわれらを贅に

ロシア兵の銃剣われに光るとき
土に額つき命乞う祖母

闇の夜の集団逃亡誰もたれも
黙して走る 宙に浮くごとし

ロシア兵がわが手つかめる感触の
三十歳近くなりても消えず

八歳のわれは身体に土を塗り
髪をおろして暴徒に備う

肌白き男子連れゆきそのはてに
女子にあらざと殺さるを見き

「ダワイ・マダム！ダワイ・マダム！」と
呼ぶ声のロシア兵の口奥まで赤し

血を流しまろびつつゆく女たち
ロシア兵が繋ぎ曳きゆく

手榴弾の意味を知りたる少女われ
祖母が握れる塊みつむ

自決せり佳木斯（ちやむす）の二千三百余
名 方正ロシア軍捕虜収容所にて

たつおらの五人の兄弟残さるる。
祖母、父、母ら自決して

十三歳になりし朝（あした）を出征する
満州開拓団山崎村の光は

新京に二十万人集れり
をんなとをさな子 老人老女

食料も薬も乏し収容所
朝に 死者の百人越ゆる

銃剣を刺して遺体を積みあぐる
満州新京に勝者の兵ら

朝ごとにトラックに積む百の遺体
がらがら、がらと音を立てたり

二千体焼きし満州の湿原に姫百合の
朱（あか）わが目を射貫く

饅頭（まんとう）を得んと先生結婚
す やがて生徒らに届く饅頭

アキ先生中国人に嫁したるが
かならず日本へと還ると言へり

中国人と結婚したる二千三百余名
方正ロシア軍收容所にて

爆雷を身にまきつけて学徒兵
敵の戦車に飛び込みゆけり

ロシア軍の戦車四十輜を爆破せるは
日本の学徒兵千六百八十人

牡丹江に六万人を守りたり
学徒出陣せし二千名

貨車に運ばれ雨にたたかれ
引き揚げ船の港に着きき八歳の夏

雨受くる無蓋貨車より捨てらるる
みどり児ありき 日本に還らむ

降りしきる雨の貨車より赤子抱き
飛び降りたりき乳出ぬ母が

獲らむとてわれら棒もて叩きたり
胡芦島湾に群れなす水母

雑草（あらくさ）の藜（あかぎ）をわれら
むさぼりたり ほうれん草に似たる
その葉を

父母すでに亡しと告げらる
春近に満蒙開拓団の人訪へば

関東軍 なに守ったんなーふみが叫ぶ
満州開拓団飯田屯より還りて

中国人の子となる道を選びけり死を逃れむ
と十四歳の純（すみ）は

子の命中国の人に託したり食うもの飲み水
尽きたる日々を

ことり と音がきこえて用たせる形のまゝ
に「かね子」息絶ゆ

夜に入りて奉天駅とおぼしきに
停まれば匪賊が襲ひ来たれり

敗戦より一年のち帰還せるわが
前に立つ 父茫然と

合歓咲きてわれらを迎ふるふるさ
とに やうやく着きたり夏終はる
ころ

咳すればこだまとなりてかへり
くる一人の咳は一つのこだま

寒の入りをみしり音立つ古家の
棟行くりと這い上る蛇

文化講座・講演会

第110回 新三木会 講演会のご案内

1. 日時：9月19日（木） 13:00-15:00 於：2F スターホール
2. 演題：『出口の見えない日韓、北朝鮮非核化』
3. 講師：平井久志氏 共同通信社客員論説員 元ソウル支局長、
4. 申込：Eメール・shinsanmokukai@gmail.com 電話・070-6994-0137
フルネーム・卒年・所属（紹介者）
（紹介者）天地シニアネットワークで申し込んでください
5. 会費（受付にて） 2千円， 婦人千円、学生無料，
6. ホームページ <http://jfn.josuikai.net/ircle/shinsanmokukai/>

7. 今後の予定

- | | | |
|-------|-----------|------------------|
| 第111回 | 10月17日（木） | 『宇宙探索の現状と将来』 |
| | 川口淳一郎氏 | 宇宙航空研究開発機構シニアフェロ |
| 第112回 | 11月17日（木） | 『歴史の逆説に光をあてる』 |
| | 本郷和人氏 | 東京大学資料編纂所教授 |
| 第113回 | 12月19日（木） | 『トランプとイラン』 |
| | 高橋和夫氏 | 放送大学名誉教授 |

奈良興寺文化講座 2019年9月19日（木曜日）

午後5時半～6時半：第一講

「平安時代の興福寺と大仏師定朝」

東京国立博物館 主任学芸員 皿井 舞

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」 興福寺 貫首 多川俊映

会場：（学）文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

（JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線新宿駅3分）

事務局

<投稿>を歓迎します。

<プリント版・郵送>

メール版を編集してプリント版を月に1回発行郵送しています。

お申込みくださればお送りします。一応、実費として月@350円（4200円/年）をいただいておりますが、強制するものではありません。

<振込先> 三井住友銀行「神田支店」 (普通) 7871532
(口座名) テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・499号

発行：2019年9月16日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)
〒116-0001 荒川区町屋3-2-1
ライオンズプラザ町屋703
メールアドレス：tentisenior06@gmail.com
電話・FAX・03-3819-7651